台湾協会報

一般財団法人 台湾協会
〒160-0022
東京都新宿区新宿6-29-6
エルツ6ビル4F
☎ 03(3200)8116㈹
FAX 03(3200)8180
振替口座　00160-8-40307

定時評議員会報告

6月22日㈮午後3時より、当協会会議室において評議員会が開催された。

（出席評議員）
池田維、小椋和平、金子展也、涂世俊、中谷建一郎、藤原慶子、松澤寛文
（出席理事）
森田高光、株木博
（出席監事）
小泉雄嗣

報告事項

平成29年度事業報告

決議事項

1．平成29年度計算書類等承認の件
2．役員等候補選定委員会開催の件
3．評議員選任の件
4．理事選任の件
5．監事選任の件

議事の経過

池田評議員会会長が議長となり、評議員総数8名のうち7名が出席で、本日の評議員会は定足数を満たしており、適法に成立する旨の報告があった。
（報告事項）

池田議長の指名を受け、株木常務理事より配布資料に基づき平成29年度事業報告があった。
（決議事項）

・第1号議題「平成29年度計算書類等承認の件」

池田議長の指名を受け、株木常務理事より配布資料に基づき平成29度決算の説明があり、続いて小泉監事より、会計監査、業務監査の結果、問題が無かったこと、公益目的支出計画実施報告書も正しく状況を示していることが報告され、審議の結果、全員一致で原案どおり承認された。
（平成29年度正味財産増減計算書は第2面に掲載）

・第2号議題「役員等候補選定委員会開催の件」

池田議長より、評議員全員を役員等候補選定委員に任命したい旨が諮られ、全員異議なく承認された。

一時評議員会を中断し、池田会長が議長となり役員等候補選定委員会が開催された。池田議長の指名を受け森田理事長が配布資料に基づいて提案理由を説明後審議の結果、原案どおり承認され、役員等候補選定委員会は閉会された。

・第3号議題「評議員選任の件」

選定委員会の結論に基づき、廣瀬權（はかる）氏を退任した小椋和平氏の後任の評議員に選任することが提案され、全員異議なく承認された。

・第4号議題「理事選任の件」

選定委員会の結論に基づき、小椋和平、株木博、河原功、近藤和雄、清水一也、高寛、冨澤賢公、森美根子、森田高光の9氏を理事に選任することが提案され、個別審議の結果、提案どおり承認された。

・第5号議題「監事選任の件」

選定委員会の結論に基づき、小泉雄嗣、林俊光の2氏を監事に選任することが提案され、個別審議の結果、全員異議なく承認された。

株木常務理事よりその他連絡事項があり、評議員会は午後3時50分に閉会した。

理事会報告

6月22日㈮午後4時10分より、当協会会議室において理事会が開催された。

（出席理事）
小椋和平、株木博、河原功、近藤和雄、清水一也、高寛、冨澤賢公、森美根子、森田高光
（出席監事）
小泉雄嗣

議題

1．代表理事及び業務執行理事選定の件
2．役付役員選定の件
3．その他

議事の経過

全理事の任期満了に伴い、先の評議員会で選任された森田理事が互選されて議長となり、開会を宣したのち、理事総数9名全員が出席しているので、本日の理事会は定足数を満たしており、適法に成立する旨の報告があった。

・第1号議題「代表理事及び業務執行理事選定の件」

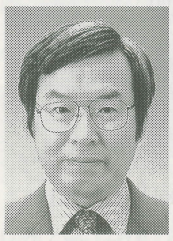
まず代表理事の選定が諮られた結果、森田理事が全員一致で承認され、本人も承諾したので、代表理事に選定された。次いで、業務執行理事の選定が諮られた結果、株木理事が全員一致で承認され、本人も承諾したので、業務執行理事に選定された。

・第2号議題「役付役員選定の件」

理事長に森田代表理事を、常務理事に株木業務執行理事を選定することが諮られ全員一致で承認された。

・第3号議題「その他」

(1)株木常務理事より平成30年度年間計画の説明、(2)森田理事長より委員会の説明と担当委員の指名がなされた後、株木常務理事よりその他報告事項があり、理事会は午後4時40分に終了した。



理事
河原（かわはら）　功（いさお）
元東京大学非常勤講師・日本台湾学会理事・著書『台湾新文学運動の展開』、『翻弄された台湾文学』他

理事
小椋（おぐら）　和平（かずひら）
元台湾三菱商事（股）董事長・元台湾日本人会理事長・台北市名誉市民・和台コンサルタント代表取締役

常務理事
株木（かぶき）　博（ひろし）
元ジェイカムアグリ㈱総務部長
中国語通訳案内士

理事長
森田（もりた）　高光（たかみつ）
元太洋化成（股）董事長・元高雄日本人学校運営委員長・元カルゴンカーボンジャパン常勤監査役

理事
冨澤（とみさわ）　賢公（けんこう）
岩手大学農学部同窓会「北水会」千葉県支部長・編集『龍馬の「船中八策」と台湾の政治改革』

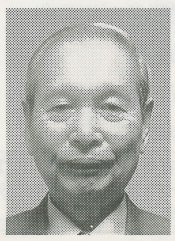
理事
髙（たか）　寛（ゆたか）
元米国三井物産㈱上級副社長・元台湾三井物産（股）董事長・台湾大学諮問委員

理事
清水（しみず）　一也（かずや）
花蓮港吉野村生まれ
元群馬県造園建設業協会会長・㈱しみづ農園代表取締役会長・平成24年6月旭日双光章受章

理事
近藤（こんどう）　和雄（かずお）
元大阪府職員・日本と台湾を考える会事務局副代表
一級建築士

評議員
廣瀬（ひろせ）　權（はかる）
元大阪府警本部長・前警察協会専務理事・㈱丸和運輸機関社外取締役

監事
林（はやし）　俊光（としみつ）
中村化学工業㈱代表取締役



監事
小泉（こいずみ）　雄嗣（ゆうじ）
台中市生まれ
良公税理士法人代表社員
税理士

理事
森（もり）　美根子（みねこ）
元了徳寺大学非常勤講師・アジア太平洋交流学会理事・台湾美術研究家・著書『語られなかった日本人画家たちの真実』他

台湾協会会員 会費領収報告

自平成30・5・28
至平成30・6・20

特別会員
（年間1万円）
中野区　星名宏修
東京台湾の会　やまだあつし

一般会員
（年間3千円）
杉並区　井口顕一郎
鹿嶋市　佐藤純子
板橋区　山﨑直也
杉並区　洪　郁如
千代田区　赤松美和子
国立市　渡邉孝子
名古屋市　藤沢市
藤沢市　野間信幸
奈良県　中川　仁
浦安市　児島憲一
吹田市　安井　緑
横浜市　呉　正男
横浜市　岩本吉堯
平塚市　大場シゲ
新宿区　横幕恵子
大田区　春山茂樹
相模原市北区　安藤年式
川崎市中野区　平峯　克
横浜市　簡　憲幸
品川区　佐藤信隆
豊島区　安室四郎
京都市　茂木　悟
川崎市　江上靖夫
鎌ヶ谷市　松脇正隆
品川区　冨澤賢公
浜松市　津止玲子
横浜市　竹内アヤ
長岡市　兒玉孝男
横浜市　永井邦男
小平市　曽田史郎
港区　石原和枝
川崎区　河本道子
港区　稲葉千都世
台南市　黒羽夏彦
台北市　周　福南
杉並区　井口顕一郎
鹿嶋市　佐藤純子
板橋区　山﨑直也
杉並区　洪　郁如
千代田区　赤松美和子
国立市　星名宏修
名古屋市　やまだあつし
藤沢市　渡邉孝子
奈良県　野間信幸
浦安市　中川　仁

〈新会員〉
（年間1千円）

平成30年度 大阪での懇親会・講演会開催のご案内

当協会主催による関西での懇親会と講演会を次のとおり開催します。奮ってご参加下さい。

懇親会
【日時】7月28日㈯
11時30分～13時15分
（受付開始　11時）
【場所】OCATビル5階スーパードライOCATモール
【会費】1500円
（定員30名）

講演会
【時刻】14時～16時30分
（受付開始　13時30分）
【場所】OCATビル4階大阪市立難波市民学習センター講堂
【内容】
●台湾協会の紹介
（近藤理事）
●林監督映画「心の故郷」（予告編）上映
●講演
【講師】林　雅行氏（映画監督）
【演題】
2つの湾生の物語
これまで台湾人を主人公とした「九份」「金瓜石」「国民党老兵」「金門島」の4作を製作、5、6作目は台湾で生まれ日本人（湾生）をテーマにした「心の故郷」と「湾生いきものがたり」を製作しました。湾生の人生と向き合い、作品にかける想いを語ります。
【参加費】（定員80名）
会員：無料
一般：1000円
学生：500円
【連絡先】
台湾協会
☎03(3200)8116
FAX 03(3200)8180
又は
近藤和雄
☎080(1403)3578

第32回 熊本県台湾の会 総会報告

幹事　佐野　茂

6月3日㈰アークホテルにおいて第32回熊本県台湾の会総会が開催されました。

梅雨時期に入りましたが、当日は晴天に恵まれ、来賓3名を含め35名が出席しました。

総会は、佐野茂幹事の司会のもと、上玉利好教幹事の開会挨拶の後、ここ数年病床にあった代表幹事の山内實氏が昨年の暮れに亡くなられ、また昨年まで参加し他界された山之内一郎氏、中村政元氏、西清次郎氏、徳永悟氏、馬本貞夫氏の6名の方々、一昨年4月の熊本地震で犠牲になられた50名の方々、並びに東日本大震災での多数の犠牲者に対して全員で黙祷を捧げました。

来賓挨拶では、台湾協会森田高光理事長より、熊本県台湾の会が32回にわたり継続していることに対するお祝いの言葉と、台湾協会の直近の活動状況の説明及び映画「心の故郷」ダイジェスト版の上映があり、次いで台北駐福岡経済文化弁事処洪臨棣総務部長より、日台交流の現状についての説明と挨拶がありました。

次に西川章幹事より会務経過報告と共に故山内實代表幹事の生前の功績を称えての追悼の言葉があり、山中信子幹事の挨拶で総会は終了しました。

記念写真撮影の後、熊本県護国神社中村雅哉宮司代理の乾杯の音頭で懇親会に移り、互いに在台当時の話に花が咲きました。午後3時、平井一男氏の万歳三唱で閉会となりましたが、会員一同名残が尽きず、お土産の米粉を片手に、来年の再会を誓い合いました。

（熊本市在住）

台湾連絡所だより

所長　山本幸男

花蓮地震被害支援ツアーを終えて

真島久美子

私が映画「太陽の子」の舞台、港口村を初めて訪れたのは1年前の5月だった。

偶然にもスミ監督や、ヒロインのモデルになったお母様、スミ・ルナさんとお会いすることができた。その際監督から「太陽の子」、映画の原作ドキュメンタリー「海稲米的願望」のDVDをプレゼントされたことが、ドキュメンタリーの自主上映、そして今回のツアーへとつながった。

5月28日から31日までのツアーの日程中は天候に恵まれ、花蓮の自然を満喫できたことは幸運だった。

港口村では映画のキャストの一人、張桂蘭さんが経営する民宿での昼食会と映画上映会を実施した。

張さんは、水田を守ろうと村人たちが座り込みをするシーンで、自分たちを撤去しようとする警官に、「あなたも原住民だね。どこの村の子？」と語りかけた人である。張さんは一躍有名人となり、民宿には日本人の泊り客が増えている。

映画での水田を守るための座り込みシーンを真似て

現地での上映会を企画したのは、花蓮在住の溝淵氏である。氏の声かけに応じて作家の古川勝三先生、映画翻訳者の黒木氏、また台東からの参加者も加わり、昼食会は大いに盛り上がった。

上映会の後の懇親会には、張さん、スミ・ルナさんも加わった。

「映画の影響はあったか」という質問に、「国がこの土地を返すと決定した」という答えが返ってきた。実は張さんの土地も国に取り上げられそうになり、27年にも及ぶ裁判を続けていたのである。

さらにこの民宿を舞台にドラマが撮影されている現場にも出くわした。映画がきっかけで、さまざまな経済的波及効果が生まれているのだ。

この映画のテーマの一つ、地方の過疎化は日本でも共通した問題だ。その中で自分たちのルーツにこだわり続けたスミ・ルナさんたちの生き方が共感を呼んでいる。

花蓮ではすでに地震の影響はまったくなく、穏やかな日常を取り戻している。青い空、背後に山々が迫り、眼下には広い海を抱く、そんな花蓮の雄大な自然を、ぜひあなたにも味わってほしい。

（練馬区在住）

東京台湾の会 総会・懇親会 報告

事務局長　簡憲幸

6月30日㈯11時より、池袋のYRイベントホールにおいて、東京台湾の会の総会と懇親会が開催され、28人が出席した。

総会では、会計報告と併せて任期満了に伴う新旧役員の交代案が諮られ、賛成多数で承認された。

新役員は、会長・藤原慶子（前副会長）、副会長・小坂賢吾、中西文太、理事・高橋郁文、高橋美子、事務局長・簡憲幸（重任）、監事・久米幸子、顧問・加來洋二郎、鍾幸昌である。

総会終了後、喜田修名誉会長（前会長）から、「この東京台湾の会は、1985年に練馬方面台湾会として発足し、今年で34年目を迎える歴史ある団体です。これまで湾生が中心となって運営してきましたが、高齢化に伴いそのままの体制では継続が難しくなりつつあるとの判断から、次の時代を担う若い世代に運営を引き継ぐことにしました。引き続き関係の皆様のご支援とご協力をお願いします」との挨拶があった。

続く懇親会では、出席者全員からの自己紹介と新役員からの抱負が語られ、盛会の裡に午後3時、散会した。

（中野区在住）

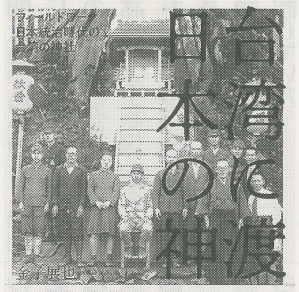
新刊紹介

『台湾に渡った日本の神々』

金子　展也著

（潮書房光人新社、2018年5月刊、定価2800円＋税）

理事　河原　功



日本統治時代台湾の各地にあった神社は、敗戦そして国民党政権となった段階で取り壊され、その跡地はホテル、忠烈祠、学校、公園、病院などに姿を変えた。

金子展也氏は、2002年から台湾に駐在すること5年、この間に日本統治時代に造営された神社遺構や遺物の調査に着手した。帰国後も調査を続け、その成果は幾編かの論文として発表、そして『台湾旧神社故地への道案内』（神社新報社、2015年）を出版した。本書『台湾に渡った日本の神々』は2冊目の著書となる。金子氏は台湾全島の神社跡地を探索してまわり、発見した神社や祠の数は400社、そのうち230社が本書に記録された。『台湾に渡った日本の神々』は、日本統治時代台湾に存在した神社の全貌に迫る「台湾神社百科事典」だと言えよう。

第一部は「総督府と神社」で、台湾総督府が公認した神社及遥拝所を紹介している。

第二部は「産業及び社会と神社」で、各種産業（樟脳、酒造、製糖、鉱業など）、軍隊、花街、移民村、原住民族の居住地域、学校、山岳、刑務所、病院などに設けられた神社や祠を紹介している。金子氏が最も苦労されたのはこの調査だった。

第三部は「台湾の神社への疑問」で、神社を調査してきた疑問を金子氏なりに解明しようと努めており、これは読者が感じる疑問の代弁でもある。

巻末には「台湾の神社一覧」があり、各社ごとに社格、社名、鎮座日、祭神、鎮座地、現住所が簡潔に記されている。

本書に収められた写真はなんと約450枚と大量である。消失してしまった神社の写真は貴重だ。また、所々に「茶芸館」と称するコラムが36編も織り込まれていて、内容は寺廟整理、神社と関係する人物、台湾住民の抵抗事件など広範囲にわたっている。これら写真やコラムは、神社造営の背景をフォローしてくれていてありがたい。

そもそも台湾の神社に関する研究は少ない。そこに来て、これだけ内容の濃い日本統治時代台湾の神社研究は他に類がない。しかも、研究者ならいざ知らず、在野の人間でありながら、金子氏は仕事の合間を縫ってこれを成し遂げた。これは実際に当地を訪問したからこそ纏め上げることのできた金子氏の労作である。その偉業を為した金子氏に心より敬意を表したい。それでも金子氏は、台湾にはまだ神社や祠の遺構が眠っていると語っている。金子氏の神社発見への意欲に惜しみない声援を送りたい。

台北「昭和町」の日 イベントを開催

台北「昭和町」の会

代表　黄　智慧

台北市の東南一角（青田街、温州街あたり）は、日本統治時代「昭和町」と呼ばれ、今でも多くの日本家屋が残っている。住民や文化財保存運動を進める市民らが、かつてこの地域で暮らした住民たちの「故郷」への思いを受け継いでいこうと、6月9、10日の両日、交流イベント「台北『昭和町』の日」を開催した。

台北昭和町には1920年代以降、台北帝国大学、台北高等学校、台北高等商業学校の教職員や台湾総督府職員の住宅として、和洋折衷の木造家屋群が建設された。戦後は接収され、台湾大学の宿舎などに使われた。再開発で次々と姿を消していったなか、保存運動により文化財に指定されるなど現在も五十数軒が残り、運動は今も続いている。

家屋の一部はギャラリーや茶館などに活用され、大都会の中、自然と文化の豊かさを感じさせ、独特な雰囲気を醸し出している。

イベントのきっかけとなったのは、昭和町で生まれ育った湾生たちが2004年、親睦組織「台北昭和町会」を発足させ、毎年6月、東京・市ケ谷に集まり、戦後の住民も参加して交流を続けてきたことによる。しかし会員の高齢化に伴い、東京での定例会は昨年の14回が最後となった。この決定を受け止めつつ、地元の経営者や保存に尽力する市民は、昭和町会の故郷への思いを受け継いでいこうと本イベント開催を決めた。

9日、青田茶館での開幕式には多くの住民が参加し、日本からも十数名の関係者が「帰郷」した。「台北昭和町会」からは坂本英子さんと次世代の家族たちが参加し、修復された生家に里帰りして、修復者とも交流を深めた。

イベントでは、日本家屋でそれぞれ、初代住民の暮らしを伝える写真展やツアー、音楽鑑賞会、講演会、書画作品展、書物交流展など、多彩な活動を通して、土地の歴史と日本家屋の活用方法をアピールする一方、日台間の故郷への思いを共有し、また若い世代との交流を通し、台北市民に歴史や文化を分かち合う機会となったことは喜ばしいことである。

なお本イベントは、地元で立ち上がった台北「昭和町」の会の主催、国立台湾大学学生会、台湾国際ラジオ放送（RTI）、中央研究院民族学研究所行動人類学研究群、台北城市科技大学応用外語学科、財団法人紀念殷海光先生学術基金会の共催で実施され、展示は最長1カ月間行われる予定である。

（台北市在住）

お茶飲んで 元気長生き 倖せに
宇治茶 祇園辻利
（元、台北辻利茶舗）
三好通弘
営業事務センター／祇園石段下南入ル
祇園本店／東山区四条通祇園町南側
京都駅八条口店／京都八条アスティロード
東京スカイツリータウン・ソラマチ店／墨田区押上
東京スカイツリータウン・ソラマチ 6F
茶寮 都路里
祇園本店／東山区四条通祇園町南側
京都伊勢丹店／ジェイアール京都伊勢丹6F
高台寺店／高台寺ねねの道 京・洛市
大丸東京店／千代田区丸の内大丸東京店10F